

採用担当者はオープンソースのプロフェッショナルを求めている

- オープンソース・ジョブズレポート2020



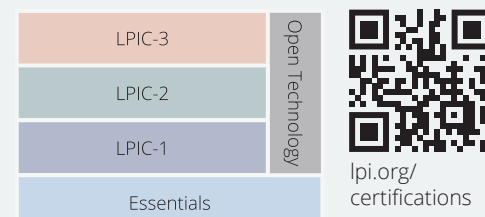
- 採用担当者の81%がオープンソース人材の採用を優先すると回答
- 採用担当者の56%が、今後6ヶ月以内にオープンソースプロフェッショナルの採用を増やすことを計画しています。
- 採用担当者の57%が、認定資格者の採用を優先すると回答し、2018年の47%から大きく上昇
- 雇用の80%が、従業員がオープンソースソフトウェアを学ぶためのオンライントレーニングコースを提供していると回答しています。
- 採用担当者の62%が資格取得者を採用する可能性が高く、2018年の47%から増加しました。
- 採用担当者の93%が、オープンソースのスキルを持つ十分な人材を見つけることが困難であると報告しています。

Linux Professional Institute (LPI)
認定資格は、スキルがあることを主張するのではなく、それを証明するものです。

証明された資格は、履歴書の山の頂点に立ち、採用担当者のホットリストに載ります。もちろん、人事部のファイアウォールを通過する最短の方法であることは言うまでもありません。LPIのベンダーニュートラルな認定資格は、オープンソースソフトウェアの多用途性を示しています。これらの資格に合格すると、特定のベンダーの技術に制限されことなく、複数のオープンソース技術を扱うことができるようになり、仕事で経験する環境を反映させることができます。

私たちは詳細な試験目的を提供しているので、試験準備の時間をより効率的に使うことができます。また、LPIの認定資格は5年間有効であり、他の資格よりも長い有効期間を有しています。LPIは、世界中のプロフェッショナルを認定しています。LPIは、国際的に認知された標準であり、世界中で求められるスキルを身につけ、キャリアを積むことができます。

LPI認定資格一覧を見る



LPIは非営利団体です

Linux Professional Institute (LPI) は、オープンソースプロフェッショナルのためのグローバルな認定基準およびキャリア支援組織です。20万人以上の試験保有者を擁する、世界初かつ最大のベンダーニュートラルな Linux およびオープンソースの認定機関です。LPI は、180 カ国以上でプロフェッショナルを認定し、多言語で試験を実施し、数百のトレーニング パートナーを擁しています。私たちの目的は、オープンソースの知識とスキルの認定を普遍的に利用できるようにすることで、すべての人に経済的・創造的な機会を提供することです。

Linux Professional Institute Japan

Linux Professional Institute (LPI) 日本支部

☎ 03-5826-8491 ✉ info-ja@lpi.org

🌐 www.lpi.org/ja/

📘 www.facebook.com/LPIConnectJA/

✂ x.com/LPIConnectJA



BSD SPECIALIST

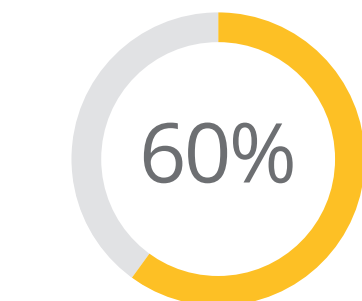
Become a certified BSD Professional

Linux Professional Institute (LPI) 認定を受けたプロフェッショナルは、仕事においてより良い成果を上げています。より高い報酬の仕事を得て、キャリアを向上させ、より多くの選択肢、柔軟性、スキルのポータビリティを得る可能性が高くなります。これは、LPIがオープンソースプロフェッショナルのための世界的な認定基準およびキャリア支援組織であることを考慮すれば、驚くことではありません。



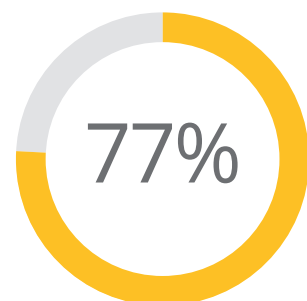
BSDスペシャリストの認定を受ける

BSD Specialist 認定は、Linux Professional Institute Open Technology 認定プログラムの一部です。
この試験は、FreeBSD、NetBSD、または OpenBSD 環境で正常に動作するために必要な実践的なスキルに焦点を当て、BSD オペレーティングシステムを管理するために必要な知識とスキルをテストします。
典型的な BSD Specialist 認定保持者は、BSD オペレーティングシステムのシステム管理者です。
認定保持者は、BSD オペレーティングシステムのアーキテクチャを理解しています。その知識には、ユーザアカウントやグループ、プロセス、ファイルシステム、インストールされたソフトウェア、およびクライアントネットワーク構成の管理など、BSD インストールのさまざまな側面を管理する能力も含まれます。コマンドラインでの標準的な BSD および Unix ツールの使用経験がある。



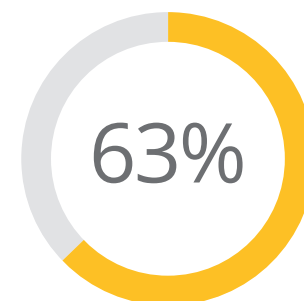
調査したIT採用担当者の60%が、IT資格を持つ応募者は審査に有利であると回答しています。

ピアソンVUEバリュー オブ
IT認定資格レポート2021



認定を受けた人の77%が6ヶ月以内に昇給しています。

ピアソンVUEバリュー オブ
IT認定資格レポート2021



63%が、IT資格取得によって社員の業務効率が大幅に向上すると感じている。

ピアソンVUEバリュー オブ
IT認定資格レポート2021

Linux Professional Institute BSD Specialist 試験科目

711: BSDのインストールとソフトウェア管理
ソフトウェア管理
712: ストレージデバイスとBSDファイルシステム
713: 基本的なBSDシステム管理

714: BSD ネットワークの基本的な管理
715: 基本的なUnixのスキル



キャリアの勢いを増すために Linux とオープンソースのスキルを確認したい IT プロフェッショナルにとって、なぜ待つ必要があるのでしょうか。Foote Partners のレポート ‘IT Skills and Certification Index’ によると、Linux Professional Institute 認定候補者に支払われるボーナスは 2 桁の伸びを示しています。

1回の試験で3つのBSDオペレーティングシステムをカバー



目的には、試験中に関連する可能性のあるコマンドとファイル名が含まれています。
受験者は、この試験が 3 つの異なる BSD オペレーティングシステムを対象としていることを認識する必要があります。
同じ名前のコマンドやファイルが、これらのシステムのすべて、あるいはいくつかに存在しても、その動作や内容は異なるかもしれません。
これは、コマンドやファイル名が目的の「共通」セクションに記載されている場合でも、同じことが起こります。
受験者は、目的の中で言及されているすべての BSD オペレーティングシステム上でファイルやコマンドを使用できることが期待されています。
適切な場合、試験ではどの BSD オペレーティングシステムを対象としているかが明記されます。

BSDスペシャリストの主な仕事内容

システム管理者

- FreeBSD管理者
- NetBSD システム管理者
- OpenBSD システム管理者
- Unix管理者
- サーバー管理者
- IT管理者

エンジニア

- セキュリティシステム専門家
- ネットワークエンジニア
- Unixシステムエンジニア
- DevOpsエンジニア
- サイトリライアビリティエンジニア(SRE)